令和 7年度　　**事務事業評価表（　令和 6年度　の実績評価）**

記入年月日						
令和	7	年	4	月	1	日

事務事業名	大和体力増進センター管理運営事業		
政策体系上の位置付け			
総合計画の施策名	0204	生涯スポーツ活動の振興	
政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり	
施策名	04	生涯スポーツ活動の振興	
手段名	02	②快適な施設利用の推進	

事業区分	
新規/継続	継続
単独/補助	単独

担当	
事務事業No.	020402000083
所属課	090501 スポーツ振興課
課長名	
グループ	スポーツ振興G
担当者名	

財務会計上の位置付け

予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	10	06	02	08	00	体育施設管理事業（大）

事　業　期　間

単年度繰返し　（ 昭和60 年度～）

期間限定の場合、総投入量を（３）投入量の右側に記入

法令根拠　大和体力増進センターの設置及び管理等に関する条例

【Do】　１．事務事業の現状把握（その１）

（１）事務事業の概要

手段

①事務事業の概要（事務事業の全体像）

所在　　　　桜川市羽田1028-1
延床面積　1階　412.35㎡　2階　399.74単位　（武道場・会議室）

（事務事業の手段）
施設の利用にあたっては、利用者は所定の申請書を提出し、許可された日時で使用することが出来る。夜間スポーツ活動団体が利用する場合は午後9時30分までに退室。
令和３年４月から、スポーツ振興課で夜間管理員２名を委嘱し、毎月交替で管理運営を行い、令和６年１１月からは、人件費削減として、電子鍵（リモートロック）を導入した。

②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

施設の維持管理、委託契約の締結、使用申請書の受付及び許可書の発行、使用日程の調整

（２）事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段　（担当者の活動内容）	④活動指標　（活動量を表す指標）	単位	05年度（実績）	06年度（実績）	07年度（計画）	08年度（目標）	09年度（目標）
施設の維持管理、委託契約の締結、使用申請の受付・許可書の発行、使用日程の調整	保守点検回数	回	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
	利用可能日数	日	308.00	308.00	308.00	308.00	308.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

②対象　（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標　（対象の大きさを表す指標）	単位	05年度（実績）	06年度（実績）	07年度（計画）	08年度（目標）	09年度（目標）
桜川市民	人口(常住人口)	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③意図　（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標　（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	05年度（実績）	06年度（実績）	07年度（計画）	08年度（目標）	09年度（目標）
スポーツができる環境を整え、スポーツを楽しんでもらう。	利用者数	日	1,296.00	1,119.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

（３）　投入量（事業費）の推移

投入量		単位	05年度（実績）	06年度（実績）	07年度（計画）	08年度（目標）	09年度（目標）	期間限定総投入量
事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	13	13	13			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	710	3,297	10,187			
	事業費計（Ａ）	千円	723	3,310	10,200			
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人			

事業費の内訳

06年度事業費 実績（千円）		07年度事業費 予算（千円）	
07 報償費	130	10 需用費	661
10 需用費	486	11 役務費	46
11 役務費	7	12 委託料	1,288
12 委託料	277	13 使用料及び賃借料	122
13 使用料及び賃借料	11	14 工事請負費	8,050
14 工事請負費	2,399	17 備品購入費	33
合　計	3,310	合　計	10,200

（４）当該年度の実施内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	○施設の維持管理 ○使用申請書の受付及び許可書発行 ○利用団体間の調整 ○ﾘﾓｰﾄﾛｯｸｼｽﾃﾑへの入力	○施設の維持管理 ○使用申請書の受付及び許可書発行 ○利用団体間の調整 ○ﾘﾓｰﾄﾛｯｸｼｽﾃﾑへの入力	○施設の維持管理 ○使用申請書の受付及び許可書発行 ○利用団体間の調整 ○ﾘﾓｰﾄﾛｯｸｼｽﾃﾑへの入力

事務事業名	大和体力増進センター管理運営事業	事務事業№	20402000083	所属課	スポーツ振興課

（5）この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？　開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

旧大和村で昭和60年４月に大和体力増進センターが建設されたことに伴い管理事業が開始された。

（6）この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし

【See】　２．評価の部　　＊原則は事前評価。

	評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性　（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	
	結びついている	維持管理することにより市民が武術道をする場が確保でき、楽しく体力増進を図ることができる。
	② 公共関与の妥当性　（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	
	妥当である	市民に対してスポーツのできる場を提供することは、健康増進につながる。
有効性	③ 成果の向上余地　（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	
	向上余地がない	格技室は、スポーツ少年団と中学生が剣道・空手の活動に使用している。会議室は、平成22年度より教育指導課指導室として使用しており一般開放は行っていない。
	④廃止・休止の成果への影響　（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	
	影響有	大和地区において武術道の活動ができるところがなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性　（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む））	
	（他に手段がある場合）⇨	具体的な手段、事務事業名
	余地がない	類似事業なし
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地（成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	
	削減余地がない	最低限の予算で維持管理している。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地　（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	
	公正・公平である	一般開放をしており、使用料を徴収している。

【Plan】　３．評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

（1）　１次評価者としての評価結果

①目的妥当性	■	適切	□	見直し余地あり
②有効性	■	適切	□	見直し余地あり
③効率性	■	適切	□	見直し余地あり
④公平性	■	適切	□	見直し余地あり

⇨

（2）　全体総括（振り返り、反省点）

さくらの広場に通室してくる児童・生徒の保護のため、同教室が開設されている日時は一般市民には開放しないこととした。
同ｾﾝﾀｰの利用団体は大和中学校部活動（剣道部）と剣道の市民団体がほとんどである。武術道を楽しむ市民が減少していることから、同ｾﾝﾀｰの利用人数は減少している。同ｾﾝﾀｰの管理体制を見直すことが必要である。

（3）　今後の事業の方向性

□ 終了　■ 継続 → □ 改革改善を行う → （複数回答可）
- □ 目的の再設定
- □ 有効性の改善
- □ 統廃合ができる
- □ 効率性の改善
- □ 公平性の改善
- □ 連携ができる

→ ■ 現状維持

□ 廃止　□ 休止

（4）改革・改善による期待成果
（終了・廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト 削減	コスト 維持	コスト 増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

（5）　改革，改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

（6）事務事業優先度評価結果

成果優先度評価結果	⑥

【Check】　４．確認及び改革改善に向けての指摘事項

（1）　課長評価

課長確認後の評価

A

A：継続（現状維持）　　C：終了、廃止、休止
B：継続（改革改善を行う）　D：2次評価へ提出

（2）　部長確認及び評価　（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）

確認欄